

## エリア内立地施設・機関での取組実績例

## びわこ文化公園

## ☆公園設備の再整備

西側広場への遊具の設置、駐車場の連絡通路整備や拡張による台数確保などの再整備を行ったほか、今後Park-PFI制度の導入による、園内のバーベキューレストランなどの飲食施設、ベンチ・ワーキングスペースなどの施設を、順次整備していく予定

## ☆新型コロナウイルス感染症への対応

近接の大学キャンパス内施設で実施していた市民向けの講座を、大学と公園の連携により、公園という屋外を活用することにより、継続してプログラムを実施

## 県立美術館

## ☆令和3年6月リニューアルオープン

広大な公共空間を公園から連動させるため、エントランスフロアでの飲食を可能にしたほか、ウエルカムゾーン(無料エリア)にキッズスペースや授乳スペースを設置し、公園のユーザーを取り込んで入館者の増加を図る取組

# びわこ文化公園都市施設連携協議会

## ☆協議会設置

エリア内の各立地施設・機関による連携を深めるため、「びわこ文化公園都市施設連携協議会」を設置

## ☆取組計画の共有

各施設・機関が実施するイベントや、事業の情報を共有するため、毎年「取組計画」を取りまとめて県ホームページに掲載し、各施設・機関へもフィードバック

## ☆意見交換の実施

エリアの賑わい創出および将来ビジョンの見直しに向けて、令和2年度に「活性化検討ワーキンググループ」を設置し、賑わい創出に向けてのヒアリングや、将来ビジョン見直しに向けた意見交換を実施



# ウェルビーイングとCO2ネットゼロモデル地域へ (びわこ文化公園都市の活性化) 令和4年度実施事業



## 大学連携の推進

☆研究連携  
☆実験・実証の場

**ウェルビーイング**  
(Well-being)

滋賀医科大学  
龍谷大学  
瀬田キャンパス  
立命館大学  
BKCキャンパス

企画調整課(内3319)

## モデル地域としての 先進的取組

☆再エネ電力地産地消  
のための事業モデル構築

**CO2ネットゼロ**  
(再生可能エネルギーの面的利用)

(例) 県立施設や大学等による  
地域マイクログリッドを構築

CO2ネットゼロ推進課(内3090)

## にぎわいの創出

☆Park-PFI  
民間活力導入による  
公園施設整備

都市計画課(内4281)

☆学生連携による  
学生フレンドリー  
なまちづくり

企画調整課(内3319)

県立美術館 (2021年6月再開館)  
滋賀アリーナ (2022年12月竣工)

☆立地施設連携  
☆未利用地活用の検討

**利便性の向上**

☆アクセス改善の検討

☆草津PAと連携した  
拠点整備 (構想)

バスターミナル  
地域活性化拠点 など

# びわこ文化公園都市の課題

エリア内に立地する各施設・機関からの視点※

※ 利用者視点からの意見は  
Webアンケートおよびバス  
モニターにより聴取中



## 交通アクセス

- ◇エリアへの公共交通がバスに限られ、起点駅周辺の渋滞で定時運行に影響
- ◇エリア内東西方向の移動手段が車以外にない
- ◇公園駐車場が週末やイベント開催時に一杯になり、入場待ちが発生

## PRや情報発信

- ◇「びわこ文化公園都市」そのものの知名度が低い
- ◇イベント開催などの周知が弱い

## 施設の整備

- ◇飲食施設に限られるほか、コンビニがない
- ◇一部施設では必要な改修が実施されていない
- ◇ユニバーサルデザインの観点から見た施設整備や、バリアフリー化への対応が十分ではない
- ◇夜間はエリア内の照明が暗く、歩くのは危険

## 「つながり」が不十分

- ☆エリア内「クラスター」のつながりが希薄
- ☆相互連携によるイベント開催や事業実施が一部に限られている

# びわこ文化公園都市将来ビジョンの実現に向けた取組（令和3年度取組計画）

資料5-1

将来像 1 県内外の人々が交流する場		○子どもからお年寄りまでの県内外の人々、生徒・学生、世界の人々（留学生、滞在外国人、訪問者等）が集い、つながるエリア ○施設や県民、NPOなどによる多彩で魅力ある取組が催されるエリア																			
取組の方向性【短期】		1-(1) 立地施設や森林などの自然資源を活かした幅広い県民の利用や参加を促進する取組の実施																			
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画																		
			H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)										
○各種ボランティア団体等のコンサートや講演の実施	・ボランティアをはじめ、多くの県民に図書館ロビー等を活動ステージとして提供する。	県立図書館			(継続実施)																
○大会・競技会等の誘致	・アイスアリーナの特性を生かした氷上スポーツの普及活動として、全国規模の大会・競技会等を誘致する。	県立アイスアリーナ					●大会・競技会の実施														
○草津養護学校秋まつりの開催(～H29) ○楓のつどい(PTA行事)	・地域に開かれた養護学校の取組の一環として、学校施設を利用したイベントを毎年開催する。	草津養護学校	●秋まつり																	R2/R3は中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催の継続を含めて取扱については検討中	
○障害のある人ない人の交流	・どなたでも参加していただける障害者週間啓発イベント、水泳記録会、チャレスポなどを実施する。	県立障害者福祉センター			(継続実施)					楓のつどい											
○地域であそぼう	・びわこ文化公園内「わんぱく原っぱ」にて、年3～4回開催する。 (親子で触れ合ったり、身体を動かしたり、いろいろな自然を活かしたりして遊ぶ。) (地域でのあそび場を知り、季節を感じる遊びを親子で楽しむと共に、参加者同士の交流を図る。)	大津市			(継続実施)																
○「若鮎祭」(滋賀医科大学学園祭)の開催	・地域の方や幅広い年齢層の方たちに参加していただけるよう、模擬店、フリーマーケット等の出店、健康チェックコーナーや医療に関連した講演会などを実施する。	滋賀医科大学	●若鮎祭の開催		(継続実施)															開催日:R3.10.30(土)～31(日)(予定) ※ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催方法等については検討中。	
○オープンキャンパス(滋賀医科大学)の開催	・映像での大学概要の紹介や、入試情報、求める学生像などの説明を行い、また、希望者を対象に学内の施設見学を実施する。	滋賀医科大学	●オープンキャンパスの開催		(継続実施)															新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催時期、開催方法等については検討中。	
○高大連携事業等の実施	・本学と協定を締結している膳所、虎姫、立命館守山高校を中心に県内の高校からの要請に基づき、複数回の高大連携事業を実施	滋賀医科大学			(継続実施)															新型コロナウイルス感染拡大のため、実施時期及び内容について各高校側と調整の予定	
○龍谷大学農学部による近隣農業団体等との連携	・地域の農業団体や農業従事者との交流を図る。 龍谷大学農学部牧実習農場で実施	龍谷大学																			●農学部の設置 ●農業団体、農業従事者との交流 (継続実施)
○龍谷大学瀬田キャンパス隣接地の利用 (びわこ文化公園都市区域に隣接の龍谷大学所有の土地<38ha>)	・環境教育や里山研究センターの研究フィールドとしての継続およびRECコミュニティカレッジ等における地域住民を対象とした里山の生態や保全活動等の体験学習に役立てる。	龍谷大学																			●体験学習等の実施 (継続実施)
○夕照コンサート	・龍谷大学瀬田ドームにおいて、毎年8月最終土曜日に龍谷大学吹奏楽部と近隣小中学校吹奏楽部との合同コンサートを実施する。 (1993年より継続実施。来場者数は約3,000人)	龍谷大学																			●夕照コンサートの実施 (継続実施)



各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画																					
			H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)													
○学園祭（龍谷大学）および理工学部研究室公開	・学生実行委員会や理工学部の学生が中心となり、地域に開放して実施する。	龍谷大学	●学園祭および理工学研究室公開				(継続実施)																	→
○オープンキャンパス（龍谷大学）の開催	・龍谷大学の魅力を体験していただくため、9学部1短大が、それぞれの教育内容を紹介する。 （各学部の相談コーナー、模擬授業、現役学生による大学紹介等）	龍谷大学	●オープンキャンパスの開催																					→
○立命館びわこ講座	・課題に積極的に取り組む市民の学習意欲に応えるため、大学の知的資源を活用する。	立命館大学 草津市	●立命館びわこ講座				(継続実施)																	→
○淡海生涯カレッジ	・身近なことから専門的なことまで、体系的に学習し、学んだことを地域で活用できるよう応援する。	滋賀県教育委員会 湖南市教育委員会（～H26） 甲賀市教育委員会（H27～） 立命館大学	●淡海生涯カレッジ				→																	
○あいこが生涯カレッジ	・身近なことから専門的なことまで、体系的に学習し、学んだことを地域で活用できるよう応援する。	甲賀市教育委員会 立命館大学																						→
○オープンキャンパス（立命館大学）の開催	・立命館大学の魅力を体感してもらうため、全学部がそれぞれの教育内容や正課・課外を通じた学生の成長をリアルに伝える。	立命館大学	●オープンキャンパスの開催（※2020年度は新型コロナの影響で実施なし）																					→
○学園祭（立命館大学）	・学園祭事務局（学生）が企画し、キャンパスを開放して実施する。	立命館大学	●学園祭																					→
○みなくさまつり	・草津青年会議所、草津商工会議所、各自治会、立命館大学、草津市が実行委員として取り組み、南草津駅を中心とした「新しい祭り」を創造する。	草津青年会議所 草津商工会議所 関係自治会等 立命館大学 草津市	●みなくさまつり（※2020年度は新型コロナの影響で実施なし）																					→
○立命の家	・子どもたちに身近な科学を通して「学び」や「ものづくりの楽しさについて教えること」をコンセプトに取り組む。	立命館大学	●立命の家（※2020年度は新型コロナの影響で実施なし）																					→
○BKC開設20周年記念事業 ※平成27年度限り	・草津市制施行60周年記念事業と連携し、教学・研究、地域連携、スポーツ、環境保全、食文化などの各分野において、6月と11月の年2回（計2日間）地域住民参加型の各種イベントを実施する。	立命館大学																						
○生態学研究センター一般公開	・生き物の暮らし方、生態系や環境問題など、教科書に載っていない面白い課題を選び、わかりやすく紹介する。また、当センター内の森を案内し、樹木などの紹介をする。	京大大学生態学研究センター					(継続実施)																	→
○レイカディア大学学園祭の開催	・シニア世代のレイカディア大学学生の日頃の学びや活動の発表を通じて、世代を超えた人たちの交流を図る。	滋賀県社会福祉協議会 （長寿社会福祉センター）					(継続実施)																	→
○滋賀県社会福祉学会の開催	・滋賀県内の社会福祉にかかる実践者や研究者が日頃の実践・研究の発表を通じた相互交流・相互研鑽を図る。	滋賀県社会福祉協議会 （長寿社会福祉センター）					(継続実施)																	→



取組の方向性【短期】		1 - (2) 駐車場や路線バスの利便性向上に向けた取組の実施												
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画											
			H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)			
○都市公園の再整備	・都市公園駐車場の拡張について検討し再整備する。	滋賀県			●基本設計	●工事着手								
○BRT（連節バス、PTPS等の導入）検討	・定時性、快適性を確保したバスサービスが提供されるよう、輸送力の大きい連節バスの導入や速達性の向上を図るPTPS等の導入を検討する。	草津市 交通事業者 交通管理者 滋賀県 道路管理者		(検討・準備)		●連節バス 導入								
○地域公共交通網形成計画の検討	・びわこ文化公園都市への交通アクセス向上等を図るため、地域公共交通網形成計画の策定に向けた検討を行う。	滋賀県 大津市 草津市 交通事業者 交通管理者 道路管理者				(計画検討)			●計画 策定					

取組の方向性【短期】		1 - (3) 県民や利用者にとっての安全性、快適性の向上に向けた取組の実施												
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画											
			H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)			
○都市公園の再整備	・都市公園内の移動円滑化対策を推進する。 ・都市公園施設の長寿命化対策を推進する。	滋賀県	●計画策定	計画の実現に向けた取組						●長寿命化 計画見直し				
○県立精神医療センター周辺道路における歩道照明灯の設置	・医療観察病棟の建設による不安を解消し、地域の安心安全のまちづくりに資するための環境を整備する。 歩道照明灯 183基（道路延長4,550m）県道大津能登川長浜線、県道平野草津線等	県立精神医療センター	●歩道照明灯 の設置											
○都市計画道路3・4・73号 南大萱上田上線	・幅員16m、延長約1,200mの都市計画道路として整備する。 ※ただし、当面の事業化の予定はないが、他の取組みの動向を総合的に勘案し、適切な時期に検討していく。	大津市												
○シンボルマークを活用した案内標識の更新	・びわこ文化公園都市シンボルマークを、区域内に設置している案内標識に使用する。	滋賀県		●案内標識 の更新										



将来像 2 文化・芸術を**創造**する場

○滋賀の風土が生み出し、守り育まれてきた滋賀の美に出会えるエリア  
○子どもから高齢者まで多様な世代が関わる文化・芸術の創造活動エリア

取組の方向性【短期】		2- (1) 「県立近代美術館」の機能の充実・強化に向けた取組の実施													
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画												
			H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)				
○「美の滋賀」の拠点となる美術館の整備	・県立近代美術館の老朽化対策を行い、2021年度早期の再開館を目指すとともに、近代美術館の狭あい化対策、機能向上について検討する。	滋賀県 県立美術館										●設計 →	●改修工事 →	●基本計画見直し →	
○文化振興基本方針に基づく取組の実施	・ボランティア活動の充実、幼児、家族向け展示、青少年向け文化・芸術体験プログラムの充実、芸術性の高い展覧会の開催等を実施する。	県立美術館	●文化振興基本方針に基づく取組の実施（平23～27年度滋賀県文化振興基本方針） →			●文化振興基本方針に基づく取組の実施（平28～32年度滋賀県文化振興基本方針） →									

取組の方向性【短期】		2- (2) 文化関係施設と各施設の連携による子どもや若者の学びや成長を育む取組の実施														
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画													
			H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)					
○文化ゾーン内各施設の連携事業実施	・みどりの日等に、文化ゾーン内各施設でイベントを実施する。	県立美術館 県立図書館 埋蔵文化財センター 東大津高等学校 びわこ文化公園	●イベント等の実施 →		(継続実施)										→	
○夏休み文化ゾーン子ども探検隊	・夏休み、文化の日の企画として各施設連携の子ども向けイベントを開催する。	県立美術館 県立図書館 埋蔵文化財センター 東大津高等学校 びわこ文化公園	●イベントの開催（平23～27年度滋賀県文化振興基本方針） →			●イベントの開催（平28～32年度滋賀県文化振興基本方針） →										→
○文化公園都市内施設との連携事業の実施	・土曜サロン等図書館事業として各施設からの情報提供（講演会等）の機会を提供する。	県立図書館	●講演会等実施 (個別テーマによる協力依頼)		(継続実施)										→	
○文化財を未来へつなぐ「びわこMyぶん祭」後継事業の開催	・子どもや若者向けの文化財に親しむ企画として、出土文化財を題材に絵画等を作成する観察会を春・秋の連休に開催する。	埋蔵文化財センター										●イベントの開催（平29～31年度） →		●イベントの開催（令2年度～） →		
○実習生の受入	・大学等教育機関からの依頼に基づき県立障害者福祉センターで実習生を受け入れる。	県立障害者福祉センター			(継続実施)										→	



将来像 3 未来成長へ**挑戦**する場

○立地する3大学や研究機関の資源や森林など自然資源を活用した医療、健康、福祉、環境、食、新エネルギー等の研究開発エリア  
 ○研究開発に基づき先駆的に事業化を促進するエリア

取組の方向性【短期】	3 - (1) 各大学等の研究シーズと事業者等のニーズとの接続を促進する取組の実施										
	各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画							
H25 (2013)				H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
○知の連携プロジェクト	・大学の知的資源を活用した連携（研究、開発など）を促進する。(H24～H26)	滋賀医科大学 龍谷大学 立命館大学 大津市 草津市	●STEP2 セミナーの 開催	●STEP3 スマートライ フフェスタの 開催							
○中小企業の活性化のための調査研究	・大学と連携し、中小企業政策のあり方や成功企業の分析、産業経済構造の探求など、調査研究を実施する。(H23～)	滋賀県	●共同研究会の実施 →								
○新春技術講演会（後援：近畿経済産業局、滋賀県、大津市、産業団体多数）	・有名企業、龍谷大学教員による基調講演、ポスターセッション・技術相談等を通して、最新の技術開発動向や戦略的経営研究を知る機会を提供する。（毎年、新春に開催し滋賀県下の企業や行政関係者多数が集うイベント。）	龍谷大学	●新春技術講演会 →	(継続実施)							→
○REC ビジネスネットワーククラブ<REC BIZ-NET>	・BIZ-NET会員企業が取り組む新規事業や研究開発に対して、学内教員や他企業とのマッチングを行い、共同研究、業務連携を積極的に支援する。	龍谷大学		(継続実施)							→
○産官学連携事業	・2030年の学園ビジョンのもと、リサーチオフィスが窓口となり、国・地方公共団体や産業界との研究交流を推進し、研究成果を社会に還元することを目標として実施する。	立命館大学		(継続実施)							→
○産業化支援コーディネーター派遣事業	技術や経営・販路等の専門家が市内中小・ベンチャー企業のようなニーズに対応する中で、新技術や新商品の開発に向けた大学との共同研究等の産学連携の橋渡しを行う。	大津市	●事業実施 →								→
○草津イノベーションコーディネーター(KIC)	立命館大学BKICインキュベータ内に1名、草津商工会議所に1名の計2名のKICが常駐。 積極的な企業訪問活動を実施し、蓄積した市内の人材・技術・企業の情報をもとに、経済団体や支援機関等と連携して、産学官金の連携を促進する。	草津市	●事業実施 →								→
○大学インキュベーション施設賃借料補助事業・インキュベーション施設発立地促進助成金	起業家、ベンチャー企業、中小企業等による大学との共同研究を推進し、事業の高度化を図るため、インキュベーション施設入居企業や、同施設から市内へ移転した企業に対して賃借料の一部を補助する。	大津市	●事業実施 →								→
○公的インキュベーション施設退去企業立地促進補助金	中小企業基盤整備機構が立命館大学BKICに設置しているインキュベーション施設等を退去し、市内で事業展開を図ろうとする法人または個人で、経済活性化または地域振興に資することが期待できるものに対して賃料の一部を補助する。	草津市	●事業実施 →								→



取組の方向性【短期】													
3 - (2) 3大学を核とした産業振興につながる研究開発に向けた取組の実施													
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画										
			H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)		
○経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」を採択・推進（「新規低温拡散表面書処理による高耐性アルミニウムダイカスト用金型の開発」）	・龍谷大学、滋賀県内企業3社、滋賀県工業技術総合センターの合同事業として採択されており、共同研究を実施する。（H23年度～25年度）	龍谷大学 滋賀県内企業3社 滋賀県工業技術総合センター	→										
○RECレンタルラボ事業	・大学内に貸し研究室を設け、契約期間中は各社が自由に実験機器等を持ち込めるようになっている。また、数多くの最新実験・検査機器を設備しており、必要に応じて使用することができるシステムを整え事業者のニーズに応える。	龍谷大学			(継続実施)								→
○経済産業省「医工連携事業化推進事業」（血液一滴で高度な診断を可能とするポイントオブケアシステムの開発の開発）	・立命館大学、滋賀医科大学及び関連企業と共同研究を行っていた小型汎用血液検査機器について、製品化を図る。	立命館大学 滋賀医科大学 滋賀県産業支援プラザ 滋賀県内企業3社 滋賀県外企業2社	→		(H27終了)								
○JST「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」（運動を生活カルチャー化する健康イノベーション）	・立命館大学及び関連企業が身体と一体化した情報端末としての肌着用スマートウェアの開発を行う。滋賀医科大学は医学的知見の提供を行う。	立命館大学 滋賀医科大学 滋賀県外大学1大学 滋賀県内企業1社 滋賀県外企業4社	→			●下のプロジェクトに採択（格上げ）に伴い終了							
○JST「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」（運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール）	・「運動の生活カルチャー化」の実現を目指し、立命館大学及び関連企業が身体と一体化した情報端末としての肌着用スマートウェアの開発を行う。滋賀医科大学は医学的知見の提供を行う。	東洋紡（株）、立命館大学、オムロンヘルスケア（株）、パナソニック（株）、大和ハウス工業（株）、HOS（株）、滋賀医科大学、順天堂大学、（株）ニッピ、東急不動産（株）、欄デンケン											→
○インキュベータ入居者支援	・地域産業の高度化、新事業の創出・育成を図るため、中小企業基盤整備機構が立命館大学BKCに設置しているインキュベーション施設の入居者へ支援する。	立命館大学 大津市 草津市 滋賀県	●入居補助等の支援										→
○企業立地促進法に基づく「大津・草津地域の基本計画」の推進（平成30年度終了）	・重点分野として「高度モノづくり」「環境」「医療・健康福祉」「IT」の4分野を定め、研究所や研究開発機能をもつ企業の立地と、市内企業の事業高度化を推進する。	大津市 草津市	●計画推進										→
○大津・草津地域産業活性化協議会事業（平成30年度終了）	・新技術や新製品の販路開拓、人材育成（マネジメントスクール）、学生と地元企業のマッチング、大津・草津地域クリエイティブ企業大賞等の事業について、産学官が連携して取り組む。	大津市 草津市	●事業実施										→

各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画											
			H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)			
○産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」の推進	・大津市と草津市をはじめ、数多くの機関が取り組む創業支援情報を両市がとりまとめ、ワンストップで提供するとともに、創業者がどの支援機関へ出向いても支援の情報を得られる仕組みを構築し、幅広い選択肢の中から自らに合った支援を選ぶことができ、成長段階に応じた継続的な支援を受けられるよう取り組む。	大津市 草津市		●計画推進										→
○創業コーディネータ	・草津市内で創業を考えている方に専門家が創業に必要な知識、ノウハウの付与、ビジネスプランの作成支援等を無料で行う。	草津市				●事業実施								→
○創業支援補助金	・新たな事業の創出を促進し、市内における創業機運の醸成ならびに産業振興を図るため、個人の起業に要する初期経費に対して一部補助をする。	草津市												●事業実施

将来像 4 歴史とくらしを紡ぐ場

○脈々と守り育てられてきた豊かな緑や歴史遺産と地域の誇りを次世代に引き継ぐエリア  
 ○県民やNPOが施設の維持・運営に参画する新しい公共モデルエリア

取組の方向性【短期】	4- (1) 歴史資源、樹林地の保存、活用の促進に向けた取組の実施													
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画											
			H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)			
○龍谷大学瀬田キャンパス隣接地の利用 (びわこ文化公園都市区域に隣接の龍谷大学所有の土地<38ha>) (再掲)	・環境教育や里山研究センターの研究フィールドとしての継続およびRECコミュニティカレッジ等における地域住民を対象とした里山の生態や保全活動等の体験学習に役立つ。	龍谷大学	●体験学習等の実施	(継続実施)										→

取組の方向性【短期】	4- (2) 県民、NPO等が参画する、施設や樹林地の維持・運営に向けた取組の実施													
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画											
			H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)			
○都市公園ボランティア団体活動支援	・都市公園内で活動している源内峠遺跡復元委員会(遺跡の復元・活用)や森の風音(里山保全)の活動を支援する。(指定管理者を通じ、フィールドや施設の提供等)	滋賀県	●活動支援											→
○施設ボランティアの育成	・社会人、シルバー世代のみならず近隣大学等の若い力が、ボランティア活動で活躍してもらえるよう、普及のための啓発広報ならびに育成のための研修を実施し、参加者の必要とする支援をおこなう。	県立障害者福祉センター			(継続実施)									→



将来像 5 いのちと健康を支える場

- 高度・専門的な医療サービスや福祉に関する支援を安定的に提供するエリア
- 豊かな自然環境に抱かれた癒しとやすらぎを五感で感じる健康・スポーツエリア

取組の方向性【短期】		5-(1) 健康・スポーツ、医療・福祉エリアとしての安全性、快適性の向上と利活用促進に向けた取組の実施												
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画											
			H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)			
○「夏休みわくわく体験広場」	夏休みを利用し、障害児者とその他一般の子どもを対象として軽スポーツやコーナーで楽しむなど、一日活動しながら交流を深めることで障害者福祉の理解と啓発を図る。	県立障害者福祉センター									→ R1.8.17(土) 会場:障害者福祉センター	→ R2.8.10(月) 会場:障害者福祉センター	→ R3.8.9(月) 会場:障害者福祉センター	
○子どもアスリート育成事業 ※26年度で終了	・草津市スポーツ振興計画に基づき、子どもがスポーツを始めることや続けることのきっかけとなる事業を実施する。	草津市	●立命館大学BKCで陸上教室を実施 → ●サイクルフィギュア教室を実施(市内小学校)											
○草津市駅伝競走大会	・立命館大学男子陸上競技部等の協力を得て、立命館大学びわこ・くさつキャンパス内にコースを設定し駅伝大会を実施する。	草津市スポーツ協会 草津市 立命館大学	●立命館大学BKCで駅伝大会を実施(※2020年度は新型コロナの影響で実施なし) →											
○チャレンジスポーツデー	・市民が気軽に親しめる事業として、各学区体育振興会・まちづくり協議会や市スポーツ協会加盟団体、立命館大学の協力を得て実施する。	草津市スポーツ協会 草津市	●立命館大学スポーツ健康科学部と連携して実施(※2020年度は新型コロナの影響で実施なし) →											
○ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU	・運動好きの子どもを育てる目的で、市内小学校の全6年生児童を立命館大学びわこ・くさつキャンパスに集めて実施する。	草津市 立命館大学	●ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSUの実施(※2020年度は新型コロナの影響で実施なし(市内小学校でアスリート交流事業を行った。)) →											
○薬事相談・薬事情報の収集と提供	・院外処方箋に係る調剤業務に加え、県民からの薬事相談への対応、薬事情報の提供、また、スポーツファーマシストによるドーピング禁止薬の相談を行う。	滋賀県薬剤師会 (滋賀県薬事情報センター)	(継続実施) →											
○大規模大会、競技会の誘致 ○各種スケート・アイスホッケー教室、交流大会の開催	・大規模大会、競技会の誘致を継続して行うとともに、各種スケート・アイスホッケー教室、交流大会を開催する。	県立アイスアリーナ	(継続実施) →											
○“福祉ゾーンねっとわーく”の取組	・福祉ゾーンにある医療福祉関係施設等の担当者が集まり、各施設の行事への相互協力支援、地元自治会・学区等行事への共同参加(展示ブース設営等)を行うほか、環境整備など地域課題等の解決に向けた活動を行う。	県立草津養護学校 県立障害者福祉センター 県立精神医療センター 県立精神保健福祉センター 県立むれやま荘 びわこ学園医療福祉センター 草津 メイプル滋賀工場	(継続実施) →											
○障害者医療福祉相談モールの設置	・障害が重複している事例など複雑困難な相談に対し、高い専門性で一貫した支援を行うため、関係する専門相談機関が集まる障害者医療福祉相談モールの設置し、相談体制の強化を図る。	県立精神保健福祉センター (以下、県立むれやま荘内) 滋賀県発達障害者支援センター 滋賀県高次脳機能障害支援センター 滋賀県地域生活定着支援センター	(継続実施) →											
○滋賀県立障害者福祉センターの利用者拡大	・主に障害者に対して健康・スポーツに関する指導力を高めることで、利用者への公平なサービス、安全・安心・信頼の確保に努めるとともに、地域における連携も強化する。	県立障害者福祉センター	(継続実施) →											



各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画													
			H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)					
○公開講座等の実施	・滋賀医科大学が主催（共催）し、公開講座、教養講座を毎年開催する。	滋賀医科大学			(継続実施)											
○「看護の日」イベントの開催	・病院の各部署紹介などのポスター展示のほか血管年齢測定、骨密度測定などを実施する。 ・心不全相談、肝疾患相談、認知症相談、糖尿病相談やAED実演を、それぞれの分野の専門・認定看護師が実施する。	滋賀医科大学	●「看護の日」イベントの開催		(継続実施)					令和3年度は院外でのイベント開催は行わず、R3. 5. 10～5. 14まで院内玄関ホールにポスター等を掲示する。						
○リレー・フォー・ライフ・ジャパン	・がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合って「がん征圧」を目指すチャリティ活動。 ・滋賀医大生が主体となり運営。学生による運営は我が国初。今年度で第6回となる。	公益財団法人日本対がん協会 滋賀医科大学								開催日：R3. 10. 6(土)～17(日) (予定) 会場：滋賀医科大学 ※ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催方法等については検討中						
○龍谷大学福祉フォーラム	・共生と協働をキーワードに「福祉」という切り口から社会の抱える諸問題の解決を図ることを目的として、講演会、シンポジウムを開催し、専門家との意見交換等を実施する。	龍谷大学			(継続実施)											
○龍谷ジュニアキャンパス～小学生が学びの主役～	・REC（龍谷エクステンションセンター）が主催し、小学生に学びやスポーツの楽しさを感じてもらうため「スポーツ」「自然・環境」「文化・芸術」をテーマにしたさまざまな体験型プログラムを取りそろえ、新たな自分の可能性に挑戦させる。	龍谷大学			(継続実施)											
○REC（龍谷エクステンションセンター）コミュニティカレッジ	・生涯学習事業の一環として、龍谷大学の知的資源を積極的に社会に還元することを目的に約440講座を開講する。	龍谷大学			(継続実施)											
○夏休み子ども理科実験・工作教室	・小学生を対象に理工学部教員による子ども向け実験と講座を実施する。	龍谷大学 大津市商工会議所共催			(継続実施)											
○赤十字キッズフェスティバル	・血液センターの周知を図るため、大学生の協力も得て、小学生を対象とした様々な催し、スタンブラリーを実施する。	赤十字血液センター (龍谷大学・立命館大学の学生)						●キッズフェスティバルの実施								
○会議室の無料貸出し	・地域との交流及び貢献並びに血液センター内施設の有効利用を目的として、血液センター内の会議室を無料貸出しする。	赤十字血液センター						●会議室の無料貸出し								新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時停止
○滋賀アリーナを核としたスポーツ・健康づくり拠点の整備	・すべての県民がスポーツに参画し健康づくりに取り組むとともに、さまざまな交流や連携を通じて、元気で豊かな生活と滋養を創造する地域の拠点を目指す。	滋賀県			●拠点施設の立地可能性	●基本計画の策定		●PFI事業者選定	●(PFI事業者)設計・工事							
○BKCSスポーツ健康 commons プログラムサービス	・新体育施設「BKCSスポーツ健康 commons」を拠点として、学生・教職員・地域を対象にフィットネスプログラムや子ども（幼少）向け水泳教室、運動基礎能力開発のプログラムを実施	立命館大学														
○びわこ学園医療福祉センター草津公開講座の開催	・びわこ学園医療福祉センター草津が主催し、毎年度公開講座を開催する。	びわこ学園医療福祉センター草津			(継続実施)											(※2020年度は新型コロナの影響で実施なし)



取組の方向性【短期】	5- (2) 災害時における施設間連携や体制づくり等の促進に向けた取組の実施												
各分野での取組計画	具体的な取組内容	実施機関	年次計画										
			H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)		
○文化ゾーン内各施設の連携事業実施	・文化ゾーン内の施設が連携、協力し、研修や防災訓練などを実施する。	県立美術館 県立図書館 埋蔵文化財センター 東大津高等学校 びわこ文化公園	●防災訓練等の実施	(継続実施)									→
○指定緊急避難場所指定	・大津市地域防災計画に基づき、びわこ文化公園を大規模地震発生時の指定緊急避難場所として使用する。	大津市	●避難場所の指定			●指定緊急避難場所の指定							→

### 5つの将来像の実現を支える取組

取組の方向性【短期】	1 びわこ文化公園都市に立地する各施設が情報交換・共有、連携等を検討する場【施設連携協議会】											
各分野での取組計画	具体的な取組内容											
○施設連携協議会の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24年度設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>↳ 各施設の事業計画、連携意向の情報共有により、文化ゾーン内や福祉ゾーン内の連携のみならず、分野を超えた横断的な施設間の連携・協力を促進する。</li> <li>↳ びわこ文化公園都市シンボルマークの公募・選定（平成26年度）シンボルマークを活用した統一的な情報発信</li> </ul> </li> </ul>											

取組の方向性【短期】	2 5つの将来像の実現に向け、県、大津市、草津市が情報共有、調整等を行う場【県・市推進調整会議】											
各分野での取組計画	具体的な取組内容											
○県・市推進調整会議の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24年度設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>↳ 取組方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>①ビジョンに描く5つの将来像の実現に向け、取組計画を作成・更新する。</li> <li>②ビジョン実現のための中長期的取組の検討</li> <li>③情報の共有</li> </ul> </li> <li>↳ 課題解決に向け検討する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存公共交通機関を中心とした交通アクセスの改善に向けた検討</li> <li>・地域住民やNPO、大学等との連携に向けた検討</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>											

